

入試情報

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
学力検査 前期日程: 2/9(火)、10(水) 後期日程: 2/29(月)	前期日程: 2/1(月)~2(火) 後期日程: 2/22(月)~23(火)	前期日程: 2/17(水) 後期日程: 3/4(金)	9科目×5段階×3年間=内申点合計 (1~3年生の9科目5段階評価) 内申点合計+標準値(95)-在籍中学評定平均値 ※千葉県独自の内申点算出式に当てはめる

教育のプロ
トライさん



傾向

今年度より総合学科・専門学科は前期定員枠を拡大しました。中学1年生から3年生の評定が全て対象となり、135点満点が基本となります。加えて千葉県が定めた評定合計標準値95から在籍中学校の評定平均値を引いたものを評価とし、中学校間格差を小さくする処置をとっています。前期・後期共に学力検査500点満点+内申点で評価します。千葉県は学力検査が重視され、当日の得点が合否に大きく影響します。内申点の掛け率は高校によって異なり、後期については特定の科目において傾斜配点を採用する高校もあります。

科目別対策

英 語

大問9問で構成。リスニング計3問に加え、語句問題1問、文法問題1問、条件作文1問、短文1問、長文1問、会話文1問（後期はリスニングが1問になり、語句問題が無し）の計6問。リスニングは5W1Hに注意しながらメモをとること。語句問題は動詞・名詞・形容詞が、文法問題は動詞の変化、比較、不定詞、関係代名詞が頻出します。読解問題は少し短めの文章で流れを掴んで速読力を上げることで、語数の多い長文にも対応できるようになります。

数 学

大問5問で構成。前半の大問2問は中1~中3の基本的な数学能力を試される小問群。後半の大問2問は図形と関数の融合問題と証明を含む、平面または空間図形の応用。大問5は図や資料から規則性を使って数式をたてる問題。前半の大問2問は基礎問題をミスなく解けるようにしておく、後半の大問2問は関数・図形関連の基本事項の定着が必須。そこから複合問題として基本事項や公式の使い方を習得しておく、パターンに慣れておくようにしましょう。

国 語

大問8問で構成。聞き取りで1問、漢字の読み書きで2問、会話に関する問題、小説文と論説文で1問ずつ、古文で1問、最後に作文で1問。（後期は会話に関する問題が無くなり大問7問で構成。）聞き取りはテレビなどを利用し要旨のメモを取る練習、漢字は出やすいものを習得しておくこと。古文は現代仮名遣いへの変換を練習し、漢文は返り点を正しく理解しておくこと。読解は段落ごとに大意を掴み、接続詞に注意しながら要点を押さえること。心情の変化とその理由についてもおさえる練習をしましょう。

理 科

大問9問で構成。各分野からの小問で構成された内容が1問、あとは物理・化学・生物・地学分野から2問ずつの構成。（後期は小問で構成された大問が無くなった8問で構成。）全ての分野において、教科書レベルの実験や観察を中心とした問題が多いので、基礎的な問題を何度も反復しておくこと。用語や結果のみを覚えるよりも、過程や根拠をしっかりと把握し簡潔に記述することが大切です。各分野から作図やグラフ問題が出題されるので、類題を解いて理解を深めましょう。

社 会

大問8問で構成。千葉県に関する総合問題で1問、日本地理・世界地理で1問ずつ、歴史2問、公民3問で構成。（後期は公民が2問になった大問7問で構成。）地理分野は地形図・統計資料・グラフの読み取り、各県・各国における気候・生活・産業・貿易の面から理解する練習をしておきましょう。歴史についても簡単な年表や資料を用いた問題は頻出なので、教科書を読み返しておきましょう。公民は基本用語を確認しつつも、経済関連の出来事は新聞やニュースで確認し、時事的な内容についても準備することが大切です。